

校歌 昭和34年7月9日制定

作詞 青木兼人
作曲 矢富巖夫

一 山紫に 水清く
靈氣あふるる 故里の
この高原の 大自然
朝夕学びの 庭として
今ぞ 培へ 我が力

二 邑を拓きし 人仰ぎ
文を研きし 人したい
ひもとく歴史 千余年
日夜励みの 祷として
今ぞ 養へ 我が心

三 松籜澄める 丘の辺に
愛の花咲く 学園は
学徒我等の 理想郷
四時たゆまざに 師と共に
今ぞ きわめん 人の道

The musical score consists of five staves of music in common time, starting with a treble clef. The lyrics are written below each note, corresponding to the melody. The lyrics are:

一 山紫に 水清く
靈氣あふるる 故里の
この高原の 大自然
朝夕学びの 庭として
今ぞ 培へ 我が力

二 邑を拓きし 人仰ぎ
文を研きし 人したい
ひもとく歴史 千余年
日夜励みの 祷として
今ぞ 養へ 我が心

三 松籜澄める 丘の辺に
愛の花咲く 学園は
学徒我等の 理想郷
四時たゆまざに 師と共に
今ぞ きわめん 人の道